



# 100人が たびだち 大人への出発

## 宇部ゴルフ観光ホテルで成人式

八月十五日(金)、宇部ゴルフ観光ホテルを会場に本町の成人式が開かれました。

ことしは対象者、男子四十五人・女子五十五人のうち、七十四人(男子三十二人・女子四十二人)が式典に参加。会場は久しぶりに顔を合わせた友人との再会を喜び笑顔であふれていました。

本年度もキャンドルサービス形式の式典で、飯田町長の式辞、上野町議会議長の祝辞に続き、成人を代表して本永憲男さん(浜)が誓いのことばを、力強く述べました。また、記念植樹(町の木・キンモクセイ)の目録を尾川智美さん(小山)が代表して町に贈呈しました。

成人としての心構えを新たにしたい式典の後、記念撮影が行われました。続いて、成人者の有志数名が企画した立食パーティーが同会場で開かれ、成人者仲間の伊藤静子さん(旦北)と富田智子(引野)さんの司会で、ビンゴゲームを楽しんだり、阿知須中学校時代のビデオを視聴したり、思い出話に花を咲かせるなど楽しいひとときを過ごしました。

また、久しぶりに阿知須町に帰って来た成人者の中には、「サンパークあじす」はもちろん「町営住宅」など次々に建設される施設を見て驚いたという人もいました。

# 生涯学習を通じた

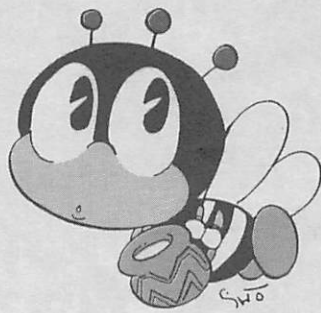
## 学びのまちづくりとは

近年の社会情勢の急激な変化は著しいものがあります。この流れは阿知須町にも顕著に現われています。

例えば、サンパークができて町外から多くの人々が阿知須にあつまるともなりました。また、このように町が開けることで、家屋も人口も増加して

います。さらには干拓を活用した「21世紀未来博」(仮称)が四年後には開催される見通しがあります。これらを通して、われわれはいろいろな文化を吸収しているといえるのではないでしょか。

その中でわれわれは、より豊かに生きようとしているはず。これを支援していくのが生涯学習なのです。



生涯学習マスコット「マナビイ」

### 一 生涯学習のまちづくりとは

#### 【生涯学習まちづくり推進のための課題】

- 地域づくりのために夢を持っていくこととしています。
- 町の元気を学びで育てようとしています。
- 町にはシンクタンク(頭脳集団)を育てようとしています。
- 生涯にわたって学習をすることを人々に本来に理解を促すこととしています。
- 行政と住民が一体となった「まちづくり」をしていくこととしています。

以上、五点を生涯学習推進のための課題として挙げる事ができます。

中でも、「夢を食べて生きていけるか」とは、夢を見る意欲と力量、発想が町民の皆さんにも行政の側にも息づいているかということなのです。地域の生き残りは、住民と行政職員が一体となった夢と学びにかかっているともいえます。

生涯学習の願いは、単に生きがいや学びを育てることではなく、地域に生きる喜びと誇り、豊かな人生と豊かな地域の暮らしに結ぶこと、そして、生涯学習は生涯にわたる学びの援助を可能にする地域づくりなのです。

### 二 生涯学習の内容

#### ● 生涯学習の内容について

- ですが、(1)個人的視点(自己実現、生きがい)
- と(2)社会的視点(共存、生き残り)の二点が挙げられます。
- (1)の個人的視点とは生きがいづくりであり、生

### 新成人者名

(敬称略)

- 【小古郷東】 縄田徹、藤重佐希子、安永哲也【小古郷南】 磯部剛【前山】 諏訪秀明、橋本明伸、尾川智美、【北祝】 片山孝一【南祝】 北村真、国平環、高野裕志、松重奈穂子、綿田祥代、尾中美津子【西祝】 藤本隆行、岡本直之、森繁文子【恵比須】 蔵谷由香利、古谷圭士【東】 伊藤直子、縄田智子【縄田南】 磯崎修、河野隆、中野美由紀【縄田北】 西田智志【中村】 小林梨恵【西条】 石川佳世、中田弓子、酒迎文枝、阿南沙織【寺河内】 伊藤理恵【浜】 青木雅代、秋本祐江、江里愛子、榎屋美、田中良平、松重綾、本永憲男、大黒慎治【二の宮】 富田宏子、畠中景子、【砂郷一】 縄田大介、岡野あずさ、【砂郷三】 河野紘子、【砂郷四】 磯部佐知子、金子貴代美、福永健一【飛石】 下野朋子、吉岡大三郎、小林宏美、小林紀子、松尾裕美、【沖の原】 稲原勇、児玉幸登、黒瀬之智、杉山香子【岩倉西】 田



▲立食パーティの風景

- 邊真、藤岡昌子【岩倉前】 上重泉絵、上野陽正【岩倉西前】 河村秀昭【岩倉辻】 下野真由香、藤永賢治【岩倉上】 上野競一、田邊知子【日東】 伊藤貴代、堤麻弥、増野薫【日西】 北野知子、藤井貴宏、義永健治、福来昌彦【旦北】 伊藤静子、坂井春美、重村綾、背戸山佳男【日門松】 竹原千晶【浜表】 下野智恵、松崎由果理、林千佳世【赤迫】 中村真美【井関】 磯部忠志、福富靖成、福本美香、水本友見【野口】 高井利恵、金澤美緒、藤田浩司【杖川】 中原寛文、古井俊治、森重健一【河内】 中野哲成【源河】 西山洋史、富田博史、村田健治、富田智子【仙在】 大田寛朗、村長涼子、磯部千晴



きがいは何事にも挑戦する力と、人と共にあることの喜びや社会とつながっていることの喜びを感じる事です。

(2)の社会的視点とは共存と生き残りであり、他者の考え、違いを認めることなのです。

□**職業人として**

・時代を読み、ニーズを知り、変化に対応できる力をつける

・新しい考え方や技術への対応と挑戦

□**地域社会人として**

外に対して生き残る

顔をつくる(特産、遺跡、リゾートなど)

内に対して生き残る

心を固める(町のおい、地域でのふれあい)



▲ 前期オリンピック(野球の部)より

□**社会人として**

・地域の構成員としての権利と義務責任を果たす

※ この三つの視点での学習も生涯学習と言えるのです。

三 **学びとまちづくり・地域づくりの関係**

これはすなわち、生活づくりであり、暮らしやすさの設計でもあるのです。人と町が人間らしく生き残るための仕掛けを持ち、町全体でつくりだしていかねければならないのです。そして学びがまちづくりで果たせる役割は

- **基本** ↓ 人と発想を育てる
- **視点** ↓ 生きがいづくり、生き残り、共存・共生
- **役割** ↓ そのための学びのメカニズムづくりを通して、産・官・民の豊かな



▲ 女性カレッジより

四 **地域で誰もが豊かに生きるために**

人材・豊かな発想が地域のエネルギーをつくるのです。そしてこれらはすべて学習が伴っているのです。

何をやってもうまくいかない、儲けにつながらないのは学ばないからなのです。

ものには有効期限があります。楽をしての繁栄はありません。田舎だから、地方だから苦労した暮らしをしているという考えは間違いです。

なによりも、まず、人間らしく豊かに、共に生きていくことのできる素晴らしさを実現させるのは住民自身と行政なのです。故郷に生きる夢と誇りを語る事。そこから、心のふれあい、生きがいが出てくるのではないのでしょうか。

「働いて楽しむ」みんな笑顔の社会づくり

近年では、事業主の方々の障害者について理解と関心が高まり、その雇用状況は着実に改善されているところですが、しかしながら、障害の重度化・多様化、産業構造の変化など、障害者を取り巻く雇用環境は厳しい状況にあり、労働省では、毎月九月を「障害者雇用促進月間」と定め、関係機関が一体となって障害者の雇用を促進するための諸活動を展開しているところです。

障害者の雇用を通じて、福祉の向上を図ることが、社会全体の共通の使命であり、また企業にとつても社会的責務であることを認識され、一人でも多くの障害者が働く場を得て、経済社会を構成する労働者の一員として、その能力を発揮することができるよう事業主の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、障害者の皆様の雇用をより促進するための、各種助成措置をおこなって

います。

▼問い合わせ  
ハローワーク山口 (TEL 0839-22-0043)

社会通信教育地方受講者研修講座  
**受講者募集**

- ▼**対象者** 県内に在住する文部省認定社会通信教育受講者および新たに受講を希望する人
- ▼**募集人員** 六十人
- ▼**期日** 十月二十六日(日)
- ▼**会場** 山口県教育研修所(山口市大字秋穂二島1062セミナーパーク内)
- ▼**内容** 近代孔版課程・建築士課程・家庭園芸課程・服装課程・俳句入門課程・ペン習字課程
- ▼**受講料** 無料
- ▼**申込締切** 九月十一日(木)
- ▼**申込方法** ハガキまたはファックスに希望課程名・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業などを明記して、お申し込みください。
- ▼**申込先** 山口県教育研修所 教育研修部 (TEL 0839-87-1170)

**九月中は時間制限  
火葬場、改修のために**

宇部市火葬場では、火葬炉の一部改修工事のため火葬の受入時間を次のとおり制限します。

- 工事期間** 九月一日から九月三十日まで（ただし、九月二日、八日、十四日、二十日、二十六日の友引の日は休みとなります。）
- 受け入れ時間** 午前十一時、正午、午後一時、午後

二時、午後三時、午後四時の六回となりますので、この受入時間に合わせて出棺時間を決めていただくようお願いいたします。

また、それぞれ受入時間での対応は、宇部市阿知須町で一炉二軒分（二日合計十二軒分）となりますので、調整をさせていただくこともあります。

■ **問い合わせ** 宇部市火葬場 (TEL 21-0260)  
町役場環境保健課 (TEL 65-4111) 内 151

**毒グモを見つけたら、  
咬まれたら**

(セアカコケグモ、ハイロコケグモ)  
▼見つけたら  
町または健康福祉センターに連絡してください。また、触らないでください。

▼咬まれたら  
水で洗うなど清潔にし、安静にして、医療機関に相談してください。(できれば

(有)2122  
なお、土・日曜日は宿直で対応します。)

咬んだクモを医療機関に持参してください。また、町または、保健福祉センターに連絡してください。

**駆除するとき**

触らないで、市販の殺虫剤（ゴキブリ用等）を噴霧するか踏みつぶしてください。

**▼問い合わせ**

宇部健康福祉センター生活衛生課 (TEL 31-3200)  
町役場環境保健課 (TEL 65-4111) 内 151 (有) 2122)

**催しもの**



- 24日(日) ソフトバレーボール教室 (体セン、後7時半～)
- 26日(火) 異世代交流図工教室 (町公、前9時半～)  
胸部レントゲン (町内) わくわくスポーツ塾 (阿小、後4時～)
- 27日(水) 胸部レントゲン (町内)
- 28日(木) 胸部レントゲン (町内)
- 29日(金) 胸部レントゲン (町内)
- 31日(日) ソフトバレーボール教室 (体セン、後7時半～)



- 2日(火) 育児相談・離乳食指導 (役、前10時～)
- 3日(水) よちよちくらぶ (役、前10時20分～)  
わくわくスポーツ塾 (阿小、後4時～)
- 4日(木) 高齢者教室 (町公、後1時半～)
- 6日(土) ひよこの会運動会 (体セン、前10時～)
- 7日(日) 近郷バドミントン大会 (体セン、前8時半～)
- 9日(火) 健康相談 (役、前10時～) いきいき広場 (福セン、後1時30分～)
- 10日(水) ヒョウタン教室 (町公、前9時半～) わくわくスポーツ塾 (阿小、後4時～)



▲町営住宅付近で

**町内建設業者・  
水道業者が奉仕作業**

町の建設業協会と水道指定業者協会は七月二十三日(水)に飛石公民館から干拓までの縦貫線の草刈りや空き缶・空き瓶やごみの回収などを行いました。

**可燃ごみ (町内全域) 月・水・金**

1 3 5 8 10 12 16  
17 19 22 24 26 29

**不燃ごみ (町内全域)**

●灰・ビン・ガラス類 (第1.3水曜日) 4 18  
●空き缶・鉄類 (第2.4水曜日) 11 25

**ごみの収集日**



- ごみを出す時間** 前日午後5時～当日午前7時30分
- 町指定ごみ袋の販売先** 町役場環境保健課・各地区環境衛生組合長宅・婦人会支部長 (一部) 宅等
- 清掃センターへのごみの直接持ち込み** 《持ち込みができる日・時間》 毎週月曜日～土曜日 (祝祭日は出せません) 午前7時30分～正午/午後1時～2時

●びんは、ふたやキャップを取り除き、中をよく洗ってください。 ●リサイクルできないびん…水色袋 ●リサイクルできるびん…無色透明びん=緑色袋、茶色びん=茶色袋、青・緑・黒色びん=オレンジ色袋